

第1部支部活動報告

細谷多聞

第1支部は平成23年11月19日(土)、札幌市立大学サテライトキャンパスにて第4回となる支部大会を行いました。第1支部では、これまで隔年で支部大会を開催してきましたが、今年の大会は東日本大震災の影響から従来の時期(9月)ではなく、11月にずらして開催いたしました。被災された支部会員も居られる中、大会テーマの再検討を行い、第1支部の「今」を皆で考える機会とする方針から、大会テーマを「豊かさのデザイン」といたしました。このテーマに基づき、午前中にインタラクティブセッション、午後に基調講演「安心の設計」、また3つの話題提供を元にワークショップを実施しました。約40名の皆様にご参加いただき、小さいながらも親密な研究交流の場となりました。デザインを巡る環境が大きく動いた本年、支部会員の貴重な経験を交え、「豊かさ」をキーワードに交流できたことは、大変有意義でありました。

自動引き落とし手続きのお願い

当学会では、会費の自動引き落としが義務付けられております。すでに、半数以上の会員の方にご利用いただいておりますが、まだ登録がお済でない会員の方は、登録手続きをされますよう、お願い申し上げます。また、口座引き落とし依頼書がお手元にない方は、本部事務局へご請求ください。

本部事務局

第2部支部活動報告

支部長 佐々木美貴

2011年度日本デザイン学会の秋季企画大会が11月12日に本郷にある東京大学工学部2号館で行われ、そのカフェサロン(懇親会)を第2支部が担当しました。大会のパネルディスカッション「デザインに何ができるか」に登壇された、司会の尾登誠一氏(東京芸大)パネリストの伊藤真市氏(宮城大)、中川聡氏(東京大学)、堀江政広氏(東北工業大学)、山崎真湖氏(アドビ)、長谷高史氏(愛知芸大)、村上存氏(東京大学)にテーブルごとの話題提供者になって頂き、総勢55名の参加者が3階会義室に集い活発な意見交換の場となりました。初めに話題提供として、認定NPO法人まちぼっとの奥田裕之氏に東京と被災地を結ぶ復興住宅活動と新しい市民ファンド「ソーシャルジャスティス基金」のお話でカフェサロンの口火を切って頂きました。また最後には、昨年同様学生プロポジション展示の特別賞の表彰を行い、参加頂いた学生の皆さんにも学業の励みとなったようです。パネラーの方たちとの語らいで、参加者・学生たちの各人の考えや、活動を更に知ることもできました。3.11以降の日本の混沌とした状況を前に進めるには、私たち自らが動くことなのかもしれません。交流によって、皆さまの活動を直接会話することで更に深く知り、そして次につなげる



上：学生の表彰
東京芸大の学生。
中段右：カフェサロン、会議室での交流に話がはずむ。
中段左：パネラー伊藤真市氏とテーブルでの交流。
右：会場提供の東京大学に感謝状を贈る。

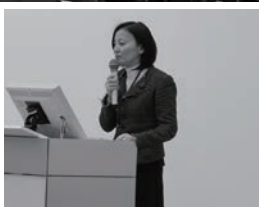




上段：会場風景。

中段：パネリストによるディスカッション。

下段：終わりのあいさつ 芝浦工業大学 橋田規子氏。



ヒントを頂くことができました。たくさんのご参加ありがとうございました。第2支部は、関東地区と参加人数が多く、広範囲の地域を担当しております。このような懇親会を担当できることは第2支部の交流としても大変有効と考えております。今年度の第2支部の活動は、都市の問題をテーマに取り上げており、その関連フォーラムとして、もうひとつの住まい方推進協議会主催の【テーマ】どうするサービスつき高齢者住宅—改正高齢者住まい法を問う— 2011年11月27日（日）（13:00～17:00）芝浦工業大学 芝浦キャンパス 802 教室（後援 日本デザイン学会）のご案内を第2支部ならびに日本デザイン学会の会員にご紹介させていただきました。

2010年の国勢調査によると、高齢化率が23%に達し、世界に類を見ない超高齢社会を迎えています。今後、介護を必要とする高齢者が加速的に増えていくこととなりますが、現状でも高齢期のサービスと一体となった住まいは絶対的に不足し、住ま

いやサービスの質の面でも多くの問題を抱えています。

その中で今年4月、高齢者住まい法が改正され、新たにサービス付き高齢者向け住宅制度が導入されました（10月20日施行）。改正法は、高齢者の住まいが直面している課題に応えられるのかを、このフォーラムでは議論をしました。

基調講演を「これからの高齢者住宅の可能性」と題して、園田真理子氏（明治大学理工学部建築学科教授）にご講演頂き、自治体の立場から、「法改正と東京都の対応」を佐藤章氏（東京都住宅政策推進部企画調整担当課長）にご報告頂き、その後3つの事例報告 ①生活科学運営の考える地域包括ケア（浦田慶信氏・生活科学運営代表取締役）②プエルト横浜（中村久子氏・NPO 法人 W.Co たすけあいぐっぴい元理事長）③大阪・NPO 友一友の家（小林房子氏 代表理事）にお話しを頂きました。次に、田村明孝氏（タムラプランニング&オペレーティング代表）に問題提議をして頂いた後、登壇者全員で、ディスカッションを行い、各人の老後感、必要な生活レベルから、どのような「最期」を迎えるかの話まで至りました。会場にはデザイン学会の参加者も含め160名の参加者。NHKの取材、新聞記者の方の来場もあり、世論の注目の話題でありなお且、高齢化の深刻な状況を危惧している社会状況を反映しているようでした。フォーラムでは、現状の施設のどの部分に不足があるのか考えながら、「サービス付き高齢者向け住宅」が制度のすげ替えだけに終わらず、市民自らがサービスをどのように捉え、地域から高齢者社会を支えていかななくてはならないとの意見交換がなされました。詳しくはHP：<http://www.ahla.jp/> をご覧ください。

第5支部活動報告

第5支部長 青木幹太

第5支部では、平成23年11月12日（土）に近畿大学産業理工学部（飯塚市）で「日本デザイン学会第5支部 平成23年度研究発表会・懇親会」を開催しました。研究発表会・懇親会は、第5支部の大学間や大学と企業の情報交換、各大学の学部や大学院生の研究活動の成果を発表する場として、平成18年より毎年1回の割合で開催し、今年で6年目を迎えます。開催当初は、九州大学芸術工学部と九州産業大学芸術学部で交互に開催していましたが、昨年は崇城大学芸術学部で、そして今年は近畿大学産業理工学部を担当頂き、大学間の連携、協力が円滑に進むようになりました。

第5支部では春季に「九州デザイン六大学展」を開催し、前年の優秀な卒業制作・修士研究の展示、発表会を、秋季に「研究発表会・懇親会」を開催し、デザイン研究の成果を発表する

創造性研究部会活動報告

永井由佳里



場を設け、年2回の催しが定着してきました。

研究会は口頭研究発表とポスター発表で構成し、口頭研究発表は全国大会と同じ書式で事前に研究概要を大会実行委員会に提出して頂き、研究発表会概要集を編集しています。また大会時の研究発表の形式も、全国大会に準拠して実施しています。本年度の研究発表会・懇親会の参加者は79名で、口頭研究発表が昨年度の32件から41件と増加し、ポスター発表は昨年度の11件から12件になりました。口頭研究発表は午前と午後、それぞれ3会場に分かれ、どの会場でも熱心な研究発表と質疑応答が行われました。ポスター発表は午前、午後の口頭研究発表の間に、実習室を使って行われました。発表する学生は研究内容を記したパネルの前に立って、自分達の研究を紹介するとともに、他大学の教員や学生の質問に丁寧に応えていました。研究発表会終了後、近畿大学内の学生食堂を会場に懇親会を開催し、大勢の教員、学生が参加して大いに交流を深めることができました。

研究発表会の内容は、「日本デザイン学会第5支部 平成23年度研究発表概要集」にまとめています。本年度の研究発表会・懇親会では、近畿大学の工藤卓先生、松本誠一先生をはじめ同大学産業理工学部の先生や学生の皆様に、ご尽力頂き密度の濃い大会となりました。この場をお借りして厚く感謝申し上げます。

本研究部会は、デザインの創造性研究の国際的な拠点としての活動をひろげております。

そのひとつとして、International Conference on Design Creativity (ICDC) の成果を報告いたします。

デザインの本質とされる創造的性質を中心に議論を重ねる場の創出につとめ、国際学会デザインソサエティのSIG Design Creativity (代表：田浦俊春) が主催する公式の国際会議へと展開するに至りました。2010年には第1回創造デザイン国際会議 (International Conference on Design Creativity) が神戸国際会議場で開催され、約30カ国から当該領域の第一線で活躍する研究者、新進の若手研究者、PhD学生たちが集い研究の成果を発表いたしました。

神戸大会を起点とし、2012年に第2回創造デザイン国際会議 (ICDC2012) がスコットランドで開催されます。元デザインソサエティ会長 Alex Duffy を大会委員長とし、9月18日から20日の三日間、マッキントッシュゆかりの地であるグラスゴーに各国の研究者、デザイナーが集います。

グラスゴー大会に関する情報は、随時更新しておりますので、下記 URL にアクセスしてください。

<http://www.icdc2012.org.uk>

本研究部会からは、大会副委員長として田浦俊春、プログラム委員長として永井由佳里が、本大会の運営につとめさせていただきます。

日本デザイン学会の会員のみなさまの積極的な参加をいただきますよう、お願いいたします。

お問い合わせは日本デザイン学会創造性研究部会事務局 (design@jaist.ac.jp) まで、お気軽にお寄せください。

教育・資格委員会

佐藤弘喜

- ・東京都主催で、本学会が委託を受けて実施する社会人向け講座「デザインツールズ」が東京ミッドタウンのリエゾンセンターを会場に、9月28日より11月10日まで全6回で実施されました。講師は本学会の國澤好衛、尾登誠一、須永剛司、長谷高史、河原林桂一郎、蓮見孝の各会員が担当しました。
- ・日本インダストリアルデザイナー協会のアクレディット委員会と合同で、デザインの資格制度に関する検討を進めており、本年度は同部会に本学会の教育・資格委員会委員が毎回参加し、PD検定やCPD制度などの資格制度に関する検討を行っています。

住所変更はお済みですか？

住所不明で戻ってくる郵便物が
増えております。

住所変更は確実にお願いします。

届出は文書にてお願いします。

転居される方は、FAX または

綴じ込みの「入会届け」に

朱書きで「変更届」と書き添えて、

事務局までご連絡下さい。

ホームページ

http://jssd.jp/files/change_regular.pdf にも

様式が掲載されておりますので

ご利用ください。

退会等の届出も必ず文書にて

お願いします。

本部事務局

献本御礼

◆寄贈図書

- ・日本デザイン学会小史50年の歩み、田中正明、オフィス・リテロ
- ・Business Research No.1041 2011.11-12号、一般社団法人企業研究会
- ・日本知財学会誌 Vol.8 No.1 2011
- ・第27回ファジイシステムシンポジウム講演論文集 CD-ROM, 日本知能情報ファジイ学会

◆機関誌

- ・デザイン理論 意匠学会編, 58, 2011
- ・木の文化 FORUM, 2011年 第8号

募集内容

幻の北庄城コンテスト

北の庄城址公演内にある北の庄城資料館に展示する、幻の北庄城の姿を募集します。

◆テーマ

田勝家の持つ、雄々しく荒々しいイメージをほうふつとさせ
北庄城。

◆応募資格

日本国内に居住する方に限ります。その他国籍、年齢等は問いません。

◆応募方法

応募作品の裏側に次の必要事項を記載の上、送付してください。

- (1) 氏名（ふりがな）
- (2) 年齢
- (3) 住所
- (4) 学生の場合は学校名、学年。それ以外は職業
- (5) 連絡先電話番号（自宅又は携帯番号）
- (6) 作品のタイトル
- (7) 作品へのコメント（趣旨等）

◆応募締切

平成23年12月28日（水）

◆問い合わせ・応募の提出先

福井市商工労働部 観光開発室 歴史のみち整備推進室 「幻の北庄城」係

〒910-8511 福井市大手3丁目10番1号 tel: 0776-20-5106

fax: 0776-20-5742

催し物

第41回エコール・ド・渋谷 NHK アートギャラリー 2011

専門学校美術展

◆主催

NHK, 社団法人東京都専修学校各種学校協会

◆会期：平成23年10/25（火）～平成24年1/29（日）

◆開館時間：午前10時～午後6時（10/30, 12/18, 1/29は午後4時半まで。最終入場は閉館30分前まで）

ぬぐ絵画—日本のヌード 1880-1945 展

◆主催

東京国立近代美術館

◆会期：平成23年11/15（火）～1/15（日）

◆休館日：月曜日（2012年1月2日, 1月9日は開館）、年末年始（12月28日～1月1日）、1月10日

◆開館時間：午前10時～午後5時（金曜日は午後8時まで開館。入館は閉館の30分前まで）

ヴァレリオ・オルジャティ展

◆主催

東京国立近代美術館, スイス連邦工科大学チューリッヒ校建築理論・建築史研究所

◆会期：平成23年11/1（火）～1/15（日）

◆休館日：月曜日（2012年1月2日, 1月9日は開館）、年末年始（12月28日～1月1日）、1月10日

◆開館時間：午前10時～午後5時（金曜日は午後8時まで開館。入館は閉館の30分前まで）

視覚の実験室 モホイ＝ナジ / イン・モーション

◆主催

DIC 川村記念美術館

◆会期：平成23年9/17（土）～12/11（日）

◆休館日：月曜日（9/19と10/10は開館）、10/11（火）

◆開館時間：午前9時半～午後5時（入館は16時半まで）

会員の移動

◆平成23年度第3回理事会承認 2011.06.24

新入会 正会員 22名（内外国人5名）

青木 あずさ	赤羽 俊平	安藤 昌也
岩藤 百香	大友 邦子	上綱 久美子
久保 倫太郎	酒井 紀征	下山 肇
城間 祥之	中嶋 隆裕	廣瀬 優平
深田 雅子	水内 智英	柳橋 達郎
横井 聖宏	渡辺 勇士	李 志炯

WANG Stephen Jia

PORNRAWEE NAKPIRAT 高 清漢

KOVAC ALEKSANDAR

退会 正会員 2名

菅澤 伯子 西林 慶祐

◆平成23年度第4回理事会承認 2011.10.01

新入会 正会員 22名（内外国人3名）

岡本 明久	於保 政昭	柏原 寛
河野 智也	日下部 徳彦	古賀 徹
佐藤 政宣	高田 智仁	俵 聡子
鶴野 幸子	中原 大介	成瀬 浩史
西口 顕一	橋本 創	平田 牧子
藤澤 亜子	北條 崇	増田 譲
村井 貴	蕭 如芳	JEONG MINJEONG

Chu-Yu SUN

退会 正会員 12名

新井 佑奈	石川 純也	岡 新太郎
加藤 晃	金子 慶太	神原 宏一
菊地 勝英	國村 大喜	高浦 浩
田上 雄一	田中 章	若松 正晴

日本デザイン学会誌の創刊号からの アーカイブ完了！

日本デザイン学会広報委員会
山中敏正

日本デザイン学会では、国立情報学研究所における学会誌電子化に協力する形で本学会誌の創刊号からの電子化を進めてまいりましたが、本年度これが完了いたしました。会員の皆様方におかれましては、大学などの研究機関から国立情報学研究所のCiNiiに接続して頂くことで創刊号からの資料を閲覧していただくことができます。

閲覧には、本学会ホームページの「電子図書館」

<http://jssd.jp/modules/tinyd3/index.php?id=1> をご活用ください。

また、創刊号からの資料の複製化にご協力頂きました方々には厚く御礼を申し上げます。



筑波大学 様 [定額アクセス](#) [新規登録](#) [ログイン](#) [お知らせ](#) [ヘルプ](#) [English](#)

TOP > [CiNii本文収録刊行物ディレクトリ](#) > [日本デザイン学会](#) > [デザイン学研究](#) > 1(1)

デザイン学研究	日本デザイン学会	1(1) (19561100)	Webcat Plus
表紙 本文: CiNii			
目次 本文: CiNii		1	
発刊に際して 本文: CiNii		2	
デザイン学会の歩み 本文: CiNii		3-4	
クラフトデザイナーの可能性について 本文: CiNii		5-15	
アメリカのI.D見聞 本文: CiNii		16-18	
学会情報 本文: CiNii		19	
編集後記 本文: CiNii			

[このページの最上部へ](#)

[CiNiiについて](#) [著作権とリンク](#) [お問い合わせ](#) [GeNii](#) [国立情報学研究所](#)